

## JJAE 投稿細則

(目的)

第1条 『Japanese Journal of Agricultural Economics』(以下「英文誌」という)投稿規程に基づき、対象原稿について様式等の詳細を定めるためにこの細則を設ける。

(対象原稿)

第2条 この細則の対象となる原稿は、投稿原稿 (Articles、Research Letters)、大会報告及び「編集委員会規程」第6条第2項に定める編集方針に関わって編集委員会が特に認めた原稿である。投稿原稿に含まれるものであっても、英文誌編集委員会が執筆を依頼する場合がある。

(英文校閲)

第3条 投稿原稿は、投稿前にネイティブスピーカーまたはそれに準じる者の校閲を受けねばならない。校閲料は投稿者の負担とする。Articlesについては、掲載が決定した原稿を対象に、編集部で「てにをは」程度の簡単な校閲を行う。この場合の校閲料は日本農業経済学会(以下「本会」という)が負担する。

(Articles及び大会報告の原稿)

第4条 Articles及び大会報告の様式は次のとおりとする。

1) 書式

- (1) 原稿はワープロソフトで作成し、A4判横書き、1段組で1行当たり10~15単語×28行とし、ダブルスペースで記載する。
- (2) 余白は上下左右各25mmとする。
- (3) 指定のない限り、フォントはTimes New Romanを用い、サイズは11ポイントとする。
- (4) ページ番号を下余白に、行番号を左余白にそれぞれ記入する。

2) 構成

(1) 第1ページ

表題(副題がある場合は、主題の末尾にコロンを付け、続けて記入する)、要旨(150語程度。課題、方法、結論を含み、原稿の内容を忠実に要約したもの。文献の引用は避ける)、キーワード(5つまで記入可能)。著者名と所属は記載しない。

(2) 第2ページ以降

本文、引用文献、図表の順とする。

3) 初回投稿時の分量(図表込み)

Articles及び大会報告は、第4条第1項の書式に従い、40ページ以内とする。

4) 見出し

節・小節・項の見出しのフォントは Times New Roman ボールド 11 ポイントとする。見出しに使用する番号は、次の順序とする。

節：1.、2.、…

小節：1)、2)、…

項：(1)、(2)、…

#### 5) 註

本文の註は脚注とする。本文では片カッコを付した脚注番号を上付きにして、例えば、脚注番号が 1 の場合は「1）」と表記する。脚注では上付きを外して「1）」と表記する。

#### 6) 文献の引用

文献の引用（本文・脚註・図表）は、著者の姓の後に刊行年（西暦）をカッコ付きで続ける。著者が 2 名のときは著者の姓を「and」でつなげる。著者が 3 名以上のときは筆頭著者の姓のみを明記し、第 2 著者以降は「et al.」として省略する。自著の引用も同様とする。同じ著者による複数の文献が同一刊行年の場合は、刊行年の後に a、b、c、… を付けて区別する。文献から内容の一部を引用する場合は、下記の例示に従う。

例：“… affected” (Tanaka, 2000: p.15)

Suzuki et al. (2005: p.2) argue, “…”

#### 7) 表記、単位

単位は kg、%、m、ha などの記号で表記し、数字は以下の表記に従う。例えば、1,000,000 tons は 1 million tons (or 1 mil. tons)、\$ 1,000,000,000 は \$ 1 billion (or \$ 1 bil.) とする。

#### 8) 数式

数式には、本文全体を通じた連番を割り付ける。スカラーとベクトルの相違、変数とパラメータの相違など、区別がつくように表記する。

#### 9) 引用文献リスト

引用文献リストは、「References」の見出しの後に一括して記載する。リストは、著者姓 (family name) についてアルファベット順とし、同一著者の文献が複数あるときは、刊行年の古いものを先に記載する。また、同じ著者による同一刊行年の文献が複数ある場合は、刊行年の後に a、b、c、… を付して区別する。表記の仕方は以下の例示に従う。

##### (1) 雑誌の引用

Kuwata, F. (2004) An Empirical Study of the GOL Model for Agricultural Products Trade, *International Journal of Rural Economics* 13(1): 1-11.

##### (2) 書籍（単著）の引用

Geode, C. and T. R. Kompson (1983) *Applied Production Economics: Theory and Application*, APOT Press.

##### (3) 書籍（編著）の章の引用

Berogman, T. E. and W. K. Destwanger (2005) The Role of Information in Applied Consumption Analysis, in A. K. Weisman, ed., *Economics of Consumer*

Behavior, White University Press, 111-133.

- (4) WWWに掲載されている情報（掲載年が不明な場合は省略可）

U.S. Department of Agriculture (2014) Agricultural Act of 2014:

Highlights and Implications, <http://www.ers.usda.gov/agricultural-act-of-2014-highlights-and-implications.html> (accessed on October 1, 2014).

#### 10) 図表

図表は本文中に割り付けず、別紙1枚に1つずつ記載する。図表の挿入箇所は本文原稿の右余白に示す。図表はモノクロで明瞭かつ鮮明に作成し、表題は内容を簡潔かつ具体的に表現したものとする。それぞれ「Figure 1. …」「Table 1. …」のように、表題の前に連番を付け、表は上に、図は下に記載する。

#### 11) 付記

表示義務がある場合や謝辞のために、本文と引用文献の間に付記を記載することができる。ただし、英文誌編集委員会、査読者、著者の指導教員など所属機関の直属の上司に該当する者は謝辞の対象から除く。また、付記は最終原稿の提出時に記載する。

#### 12) 掲載料

- (1) 筆頭著者とコレスポンディング・オーサーがともに本会の会員である場合は無料とする。
- (2) (1)以外の場合は8,500円とする。ただし、(1)以外で学生の場合は4,250円とする。

### (Research Letters の原稿)

第5条 Research Letters の様式は次のとおりとする。

#### 1) 書式

- (1) A4判横書きで、本文の前までは1段組で96文字×46行、本文は左右2段組で、片段48文字×46行×2段とする。
- (2) 余白は上下各25mm、左右各20mmとする。
- (3) 図表はモノクロで作成し、片段に収まる場合は片段でセンタリングする。左右両段にまたがる場合は両段でセンタリングする。片段、両段ともに、図表と余白の間に文章は記載しない。また、余白にはみ出ないようにレイアウトする。

#### 2) 原稿の構成

原稿は「Template for Research Letters」を使用して作成し、以下の構成と合致していることを確認する。ただし、投稿時には次の(3)に示す著者名は記入せず、空行をそのまま残す。著者名は掲載決定後に記入する。

- (1) 表題を中央に置く(Times New Roman ボールド14ポイント)。副題がある場合は、主題の末尾にコロンを付け、続けて記入する。
- (2) 1行空ける。

- (3) 著者名（中央に置く。Times New Roman ボールド 14 ポイント。著者名の後に所属別に番号を上付きで付ける。著者が複数の場合はコンマで区切って横に続ける。コレスポンディング・オーサーは所属を示す番号の後に「\*」を付ける）。
- (4) 1 行空ける。
- (5) 100 words までのサマリーを均等割り付けする (Times New Roman 10 ポイント)。
- (6) 1 行空ける。
- (7) 3 words のキーワード。Arial 10 ポイントで「Key words:」と書き、その後に Times New Roman 10 ポイントで 3 words をコンマで区切って横に続ける。
- (8) 1 行空ける。
- (9) 節の見出し（中央に置く。Times New Roman ボールド 10.5 ポイント）。
- (10) 本文は Times New Roman 10 ポイントとする。

### 3) 原稿の分量

初回投稿時から掲載決定時まで、原則 4 ページ、上限 6 ページとする。3 ページ以下の原稿は認めない。

### 4) 註

- (1) 所属とコレスポンディング・オーサーは脚註部分に記載するが、投稿時には記入せず、空行をそのまま残す。掲載決定後、はじめに所属を記入し、所属の前に対応する著者の番号を上付きで付ける (Times New Roman 9 ポイント)。複数の場合は改行して下に続ける。次に、コレスポンディング・オーサーの電子メールアドレスを記入する (「Corresponding author \*:」と記載した後に、該当者の電子メールアドレスを記入する)。
- (2) 本文の註はすべて脚註とする。Times New Roman 9 ポイントとする。片カッコを付した脚注番号を上付きにして、例えば、脚注番号が 1 の場合は「1)」と表記する。

### 5) 見出し

見出しは第 4 条第 4 項に準じる。ただし、Times New Roman ボールド 10.5 ポイントとする。

### 6) 文献の引用

文献の引用は第 4 条第 6 項に準じる。ただし、Times New Roman 10 ポイントとする。

### 7) 表記、単位

表記、単位は第 4 条第 7 項に準じる。ただし、Times New Roman 10 ポイントとする。

### 8) 数式

数式は第 4 条第 8 項に準じる。ただし、Times New Roman 10 ポイント程度とする。

### 9) 引用文献リスト

引用文献リストは第 4 条第 9 項に準じる。ただし、Times New Roman 9 ポイントとする。

### 10) 付記

付記は、研究成果の発表に際して表示義務のある研究資金を利用した原稿である場合に限

り、その研究資金について表示することを認める。

#### 1 1) 投稿審査料・掲載料等

投稿審査料は 5 千円とする。投稿審査料は、投稿前に本会事務局へ納付しなければならない。投稿前に投稿審査料の納付がなされない場合、当該論文は審査の対象としない。掲載料は、4 ページで 2 万円、5 ページで 3 万円、6 ページで 5 万円とする。掲載料は、受理決定通知を受領後速やかに本会事務局へ納付しなければならない。掲載料の納付がなされない場合は、掲載を取り消すことがある。

#### (別刷)

第 6 条 Articles 及び大会報告については別刷 20 部を贈呈する。21 部以上を希望する場合、超過分は有料となる。著者校正時に希望部数を申し込む。

#### (改正)

第 7 条 この細則の改正は編集委員会で決定し、本会ホームページで公示する。

#### 附則

この細則は第 85 巻 2 号 (2013 年 9 月) 掲載の原稿より適用する。

#### 附則

1. この細則は 2014 年 11 月 1 日以降の投稿原稿から適用する。
2. 前項 1 によらず、2014 年度大会の『日本農業経済学会論文集』英文原稿については、Research Letters としてこの規程を準用する。

#### 附則

この細則は 2016 年 3 月 29 日から施行する。

#### 附則

1. この細則は 2018 年 5 月 28 日以降の投稿原稿から適用する。
2. 2018 年度大会の Research Letters 原稿については、なお従前の例による。